

■表 会場別参加者数

会場	男	女	合計
水沢	49人	5人	54人
江刺	70人	7人	77人
前沢	42人	5人	47人
胆沢	20人	4人	24人
衣川	20人	7人	27人
団体	106人	45人	151人
合計	307人	73人	380人

(団体：関係団体・各種委員を参集範囲として開催)

幸せを実感できるまちづくりが進むものと考えます。2つ目は「世界へ発信するまちづくりに向けてのILCプロジェクト」です。国際リニアコライダー(ILC)の誘致を見据えた積極的な施策を取り入れ、次世代の人材の育成や新産業の創出を図ることによって、国際科学技術の新たな活用拠点の実現に取り組みとともに、文化、居住、就業、教育、保育、医療、交通などの充実を図ります。また、研究施設などの運用では、再生可能エネルギーによる循環型システムを構築し、自然の恵みを有効に活用するなど、持続可能な環境と共生したまちづくりを進めます。



地域の個性がひかり輝く 自治と協働のまち奥州市 実現に向けて
多くの市民が声を寄せた

—平成28年度— 市政懇談会 開催報告

市は、11月26日から12月15日まで市政懇談会を開催しました。ことしのテーマは現在策定中の「第2次市総合計画基本構想」。市内5会場の一般市民対象の懇談会のほか、市内関係団体・各種委員向けの懇談会を合わせて16回開催しました。平成29年度から始まる10年間の本市のまちづくりの基本方針に、多くの市民から意見が寄せられました。

未来志向の意見を交換 「市民の声」を紹介

テーマ
総合計画基本構想

Q 基本構想の目標とは何か。多岐にわたっているが優先順位はあるのか。
A 基本構想の目標は、協働のまちづくりです。このまちで何かをやるうとした人に対しては、行政が手伝い、チャレンジする気持ちで報われるものでありたい。こういう活動が地域の活性化、本市の魅力につながっていくものと考えています。

テーマ
協働のまちづくり

Q 基本計画や財政計画はいつ示されるのか。
A 基本構想は、総合計画審議会などでの議論を踏まえた後、地域協議会に諮り、議会での議決を経て決定します。議論がスムーズに進めば、本年度中に財政計画、実施計画をまとめて提示する予定です。

テーマ
協働のまちづくり

Q 協働のまちづくりがイメージできない。誰がいつどこで何をやるのか、現状、どの部分が不足しているのかを理解できない。
A 協働というのは共に働くことという事です。行政の状況は厳しく、従来のように全体的に手当はできないというのが事実です。その一方、医療、教育、福祉への手当は低下させることはできません。地域課題を解決するためにお互いに知恵を絞る自分たちのできる範囲で協力していく運動。後藤新平の自治三訣の精神に繋がるものです。



Q 奥州市に限らないが、社会の中で若者の存在意義が軽く見られがち。若者が力を発揮できる機会・環境を与えてもらえれば。
A 若い人たちが、こういうことやりたいが手伝ってもらえないか、といった提案をどんどん持ってきてもらえれば、真摯に受け取っていきます。総合計画においても、良い表現ができないか検討していきます。



Q 第2次計画には地区別に記載される計画があるか。地域の展望を描き、要望を反映させる仕組みも組み入れてほしい。
A 第2次計画では、地形山間地に分け、エリアごとに共通する課題を解決するための計画にしたいと考えています。地域からの要望については、実施計画に丁寧に取り入れていきます。

Q 人がいてこそ、行政も商業も成り立つ。「人口が半分になるから、施設も

▼総合計画基本構想とは
市が定める「総合計画」は、本市の総合的な指針であり、各種計画の最上位計画です。「総合計画」は、今後10年間本市が目指す方向性を示した「基本構想」、その下に前期・後期5年間ずつに分けた「基本計画」、これに基づいて具体的な事業を記載した「実施計画」によって構成されます。第2次市総合計画では、平成19年に制定した「奥州市民憲章」の理念をベースに時代の潮流を反映した「基本構想」の策定を目指しています。

▼スローガンは「地域の個性がひかり輝く 自治と協働のまち奥州市」
第2次市総合計画のスローガンは、第1市次総合計画と同じものを掲げています。しかし、内容としてはより発展したものとなっています。これまでの10年間は、どちらかというとスローガン後半の「自治と協働のまちづくり」を強調してまちづくりを進めてきました。行政を含めたさ

第2次市総合計画の基本構想(案)

めざすべき都市像の実現に向けた「6つの目標」と「2つの戦略プロジェクト」

めざすべき都市像
地域の個性がひかり輝く 自治と協働のまち奥州市

- ① 快適な暮らしを支えるまちづくり
- ② 環境にやさしい安全安心なまちづくり
- ③ 豊かさ・魅力のあるまちづくり
- ④ 健康で安心して暮らせるまちづくり
- ⑤ 未来を担う人を育てるまちづくり
- ⑥ みんなで創る生きがいあふれるまちづくり

誇りと幸せを実感できるまちづくりプロジェクト
～人口プロジェクト～

世界へ発信するまちづくりプロジェクト
～ILCプロジェクト～

さまざまな団体が、互いの自主性を尊重しつつ、それぞれの役割と責任に基づき、対等な立場で相互に補完し、協力し合う協働の精神がこれからのまちづくりには必要とされ、一定の成果が出てきています。今後10年間は、スローガン前半の「地域の個性がひかり輝く姿」の実現に重点を置き、協働のまちづくりの推進によって、「地域が光り輝いてこそ奥州市」を創っていくことを目的としていきます。

▼戦略プロジェクトとまちづくり大綱
2つの戦略プロジェクトと6つのまちづくり大綱は右図のとおりです。まちづくり大綱は、市の各部署ごとに取り組むテーマ別の方向性です。戦略プロジェクトは、分野横断的に広域な視野と複合思考をもって取り組んでいくもので、その1つ目は「誇りと幸せを実感できるまちづくりに向けての人口プロジェクト」です。市人口ビジョンに掲げる人口目標を達成するため、本市の魅力あふれる観光資源と品質の高い農畜産物や工芸品を内外に発信します。また、基幹産業である第1次産業の基盤強化と企業誘致による雇用環境の一層の充実、そして、起業による新産業の創出を図り、豊かな自然と快適な都市基盤が調和した生活利便性の高いまち、子育て環境に優れたまちを目指します。これらの総合的な取り組みによりふるさとに誇りを持ち、

■問い合わせ＝本庁政策企画課広聴広報係(内線418)